



▲ぼくん家^ちから ぜったい火事は出しません
誓いも新たに消防出初式（1月6日蒲生中グラウンド）

かごしま

あいら

市議会だより

No.11 12月定例会
平成25年1月31日発行

一般
質問

21人が市政を問う

6

正算
補予

衆院選に
3500万円

2

何人がよいか

19

議員定数

議会報告会

18

第1回

補正予算 3億9290万円

衆議院選挙費 3500万円



▲蒲生木材共販所での初セリ市

12月定例会は、11月21日から12月21日までの31日間の会期で開かれました。

地域主権一括法などによる始良市条例制定・改正22件、市道路線の廃止・認定の件、一般会計・特別会計補正予算、諮問2件などの議案を審査し、原案のとおり可決しました。

また継続審査の陳情1件を趣旨採択としました。

地域主権一括法

地域主権一括法とは、これまで政省令(国)で規定していた「施設・公物の設置管理の基準」について、それぞれの地方公共団体の実情に応じて条例で定めることができるとする法律です。

政省令で定める基準に対し、それぞれ異なる拘束力を有するものとなっており、3つに分類されています。

国が提示した基準がどのような性格のものか留意した上で、始良市の基準を定めます。

今回の定例会では13件を採択しました。

(詳細は4〜5ページ)

一般質問 21人

広く市政全般にわたって身近な課題や振興策の提言などをとらえ、市長の考え方をいただきました。

補正予算

今回の補正では3億9290万円を追加し、本年度予算総額は272億2417万円となりました。

- ①衆議院解散に伴う選挙費
- ②須崎地区公共用地の購入費
- ③加治木港町地区の地域振興事業に伴う測量設計委託料
- ④保育所への児童措置費
- ⑤給付費の増加に伴う介護保険事業特別会計への繰り出し金
- ⑥蒲生大楠児童クラブが使用するプレハブ移設設置工事費
- ⑦帖佐中学校グラウンドフェンス改修費など



▲今回設置予定の同系の屋外拡声子局



決意新たに

議長 玉利道満

新年あけましておめでとうございます。

師走の総選挙など、慌ただしい中で政権の交代がなされました。

東日本大震災後の一刻も早い復興、税と社会保障の一体改革、原発問題に伴うエネルギー政策等、解決しなければならない課題が山積しています。知恵を出し、支え合うことが求められるものでありましょう。

始良市議会では、市民の負託に応えるため、市民参加の議会の実現に努力しております。年末は、3地区で議会報告会を開催し、皆様から貴重なご意見、ご提言を頂きましたが「取り組みの姿に前向きさを感じる」「報告会を反省し発展的な会を継続させよ」などのアンケートは、大きな励みでありました。

全議員が、議会のあり方に創意工夫を重ね市民の皆様のご期待に応えるよう決意を新たにしております。いっそうのご支援・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

県道伊集院蒲生溝辺線ほか2路線の事業費確定に伴う増額分です。
質疑 負担金にかかる起債は義務付けられているのか。
答弁 道路等の起債は、単年度だけでなく、継続して使うもので、後年度にも負担する意味で起債を充当する。

**県単道路整備事業
負担金892万円**

**防災無線設置に5000万円
当初予算2億8700万円に追加**

電波の伝わり方を調査した結果、他の自治体に電波障害をおよぼすことが判明しました。

質疑 今回の補正で100%完了になるのか。市内の業者が工事を受注できるのか。
答弁 実際に全体を網羅できるかは分からない。全く聞こえない所は戸別受信機で対応する。入札は国内メーカーである。下請けなど極力地元で対応する。

**共聴アンテナ整備
に745万円**

テレビ難視聴地域の加治木町鶴原地区、北山北野地区、ほか24地区の共聴アンテナ施設整備をします。

質疑 24地区には自己負担金は発生しないか。
答弁 1世帯あたり42万9千円かかる。国・NHK・県と市がそれぞれ補助する。市負担分のうち7千円を限度に個人負担がある。

**加治木町港町地域
測量設計委託料540万円**

港町地域の安心、安全と活性化について、ハーと活性化した。側溝の悪臭がひどいところの整備で浜通線・網掛線ほか4路線の港町飲食店街一帯の測量設計委託料です。

蒲生地区で肉用の黒さつま鶏を生産する株NSファーム（認定農業者）が簡易鶏舎300㎡2棟などを建設します。
 事業費に国の「強い農業づくり交付金」で2分の1を補助します。

**鶏卵・鶏肉生産
効率化事業補助金
660万円**

条例

地域主権一括法で 制定8 改正5

始良市独自で 制定4 改正8

今回の特徴は国の定めと 始良市独自に区分

12月議会では、25の条例制定・改正が上程されました。

今回の条例制定・改正の特徴は、「地域主権一括法」で行うものと、「始良市独自」で行うものに分けていることです。

国は、平成23年5月と8月に「地域主権一括法」を制定しました。

「地域主権」とは、国の法律を地方の条例に移

し替えて、市町村に権限移譲することです。この法律に基づいて8

条例を制定し、5条例を改正しました。

条例化に対して国は拘束を設けたため、従来の法律を市の条例として移し替えました。条例化のメリットは、市民が内容を見ることが容易になったことです。

条例化に対する 国の拘束(制約)

国は3つの基準に拘束して、市町村に権限を移譲します。

①「従うべき」基準

これまでの法律に必ず適合しなければならぬ。②「標準とする」基準

合理的な理由がない限り、国の基準どおり定める。

③※「参酌すべき」基準

十分参酌した結果であれば、地域の実情により異なる内容を定めることができる。

※参酌とは、まわりの状況や他の意見などを考え合わせて参考にすること。

質疑 国は「地域の自主性と自立性を高める」と言いながら、「国の基準に沿った条例を制定」して施行せよと言っている。このことについて、当局はどのように考えるか。

答弁 条例制定にあたっては、市民等の意見を踏まえ、本市の実情に即した基準を定める条例として制定する。



▲道路等の構造基準は市で決める？
県道十三谷線

地域主権一括法に基づく 条例制定および改正

一 指定地域密着型介護事業に係る条例制定 例

① 指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例
② 指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

③ 指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法

二 道路・河川・都市下水路・上水道に係る条例制定

① 市道に係る道路構造の基準等に関する条例（高度な技術基準を除く）

② 準用河川に係る河川管理施設等の技術的基準を定める条例

③ 都市下水路の構造等の技術上の基準に関する条例

④水道事業の布設工事監督者の配置及び資格基準並びに水道技術管理者資格基準に関する条例

四 都市公園・市営住宅に係る条例の一部改正
①都市公園条例
②市営住宅条例

三 墓地等の経営の許可等に関する条例制定

五 一般廃棄物等清掃・し尿処理等に係る条例の一部改正

○経営の主体、墓地等の設置場所及び構造等の基準

①清掃センターの設置及び管理に関する条例
②し尿処理場の設置及び管理に関する条例

○計画の事前協議等

③一般廃棄物最終処分場の設置及び管理に関する条例

★この条例は、新規に墓地を経営する場合に適用するもので、既存の墓地には適用されません。

○公平委員会条例制定

二 職員定数条例改正

○一般職の任期付職員等の採用等に関する条例制定

三 一般職の任期付職員等の採用等に関する条例制定

○設置条例改正

五 部設置条例改正

○質疑

質疑 条例制定の主たる目的を示せ。

○答弁

答弁 地域主権一括法や県からの権限移譲で業務量増大が予想される。住民サービスを維持し、

○質疑

質疑 委員は何人で構成し、過去5か年の間に開催した事例があったか。

○答弁

答弁 3人で構成する。事例はなかった。

始良市独自の条例 制定および改正

一 暴力団排除条例制定

○制定の目的は、市民と事業所が力を合わせて暴力に屈しない街を実現し、併せて青少年に対する暴力排除教育の推進を図り、安心で安全な市民生活を確保することです。

○質疑

効率的な人材活用を目的としている。

○答弁

運用する職種は、高度な業務：弁護士・会計士
○専門的業務：保健師・栄養士・保育士
○一般的業務：市税徴収員など

二 公平委員会条例制定

第4条に定数外職員を設けて、対象職員は定数にカウントしないこととします。

○質疑

休職を命ぜられた職員
②任命権者の許可を受けた職員団体の専従職員
③他の公共団体への派遣職員
④育児休業中の職員
⑤公益法人等への派遣職員

三 一般職の任期付職員等の採用等に関する条例制定

簡素で効率的な組織機構と事務の効率化を目的に改正するもので、改正後は①総務部 ②企画部

○質疑

出頭人及び参考人に対する実費弁償に関する条例改正

○答弁

始良市議会会議規則が一部改正されたため、整合を図るものです。

○質疑

主な改正内容は、参考人等に対して実費弁償を支給するための法改正に伴い、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会を加えるものです。

○答弁

地方自治法の一部改正に伴うもので、主な改正内容は、委員の選任方法、在任期間など、法律で定められていた事項を条例に移し替えたものです。



▲権限移譲で仕事は増加、職員は削減

人権擁護委員に同意

任期は法務大臣が委嘱した日から3年です。



今村 和子氏
(61歳・平松)



大迫 紀美江氏
(62歳・木田)

議会が上程した規
則および条例改正

一 始良市議会会議規則

地方自治法の一部改正に伴うもので、主な改正内容は、本会議における公聴会・参考人の招致等の規定を挿入しました。

二 始良市議会委員会条例

地方自治法の一部改正に伴うもので、主な改正内容は、委員の選任方法、在任期間など、法律で定められていた事項を条例に移し替えたものです。

クロツラヘラサギの保護対策

希少野生動物

市長／本市・県・NPO等と協議



和田里志議員

和田 錦江湾の希少動植物の保護対策と、市の鳥についてどう考えるか。
市長 絶滅を防ぐことは極めて重要なことであり、「希少野生動植物の保護と活用の調和」を保つ必要がある。
本市に毎年10月下旬から飛来しているクロツラ



▲本市に飛来するクロツラヘラサギ (NPO法人くすの木自然館提供)

ヘラサギの保護と活用について、本市・県・NPO等が集まり協議した。

資源物回収の受入場所を増設
市長／重富・松原の2か所

和田 資源物収集体制の一部変更と、受入場所の増設をどう考えるか。

市長 24年12月から、始良地区資源物の収集時に実施している計量を廃止する。

資源物受入場所については、重富地区であいら農協（旧新鮮蔵）、松原地区の県土地改良事業団

体連合会所有地を借り上げて新たな資源物集荷所として開設する。

その他の質問
○市有地・区画整理区域内保留地の売却促進
○合併浄化槽の補助事業

21人が問う



湯川逸郎議員

資源物収集等

指導員(当番)廃止は

市長／引き続きお願いしたい

湯川 市長の公約であった資源物収集等の改善で、市民の方々の最大の負担となる指導員(当番)廃止は、何ら改善されていない。改善できない理由を問う。

市長 資源物の品質低下を防ぎ、搬出者の方に分別の意識を持ってもらうことや、指導員がいることによって、スムーズな分別への誘導が図られる。指導員の配置については、引き続きお願いしたいと考えている。

都市計画マスタープランの進捗状況
市長／計画道路・用途地域は調査見直す

湯川 まちづくりを進める、都市計画マスタープランの進捗状況で、都市計画道路の配置や用途地域等の事業推進状況を示せ。
市長 都市計画道路は、事業実施を効率的に進めるため、土地利用の動向や都市計画区域の状況、交通量、事業費などを詳細に調査した上で、事業を実施する。
用途地域の見直しについても、平成25年度以降再編や見直しの調査業務を実施する予定である。

その他の質問
○空き家・空地等の対策



▲自分で分別を

建昌城跡地

今後の整備計画

教育長／国の史跡化を目指す



本村良治議員

本村 今後の建昌城跡地の整備計画は、大文字池側からの遊歩道の整備も含めて、今後どのように進めていくのか。

教育長 公園を整備していくうえから中長期的には遊歩道も必要と考えるが、建昌城址東側は県の文化財保護条例の適用をうけている。
 今後は、国や県との調整を図りながら、国の史跡化を目指す史跡整備計画案を作成し、庁舎内で検討する。

共同調理場の建設候補地 教育長／3つの条件で選定

本村 共同調理場の選定は、どのような条件が候補地として検討され、どのような場所が挙がり、どのような経緯で選定されたのか。

教育長 土地取得代、配送時間、建築基準法の3つの条件をクリアする建

設予定地について、旧三又小学校跡地、警察学校近くの敷地を候補予定地として、庁舎内で現地調査と配送時間を含めて検討した。

その結果、旧三又小学校跡地を建設予定地として適地と判断した。



▲市民農園として利用されている建昌城跡地

一般質問 市政を

社会貢献

健康ポイントの寄付

市長／今後研究する



森 弘道議員

森 市民が健康づくり事業に参加して貯めたポイントを、幼・保・小・中学校に寄付ができる健康ポイント制度の導入は考えないか。
 毎年増加する国民健康保険の医療費の節減と健康寿命の増進が図られると思うがどうか。
 兵庫県豊岡市は、これらの施策で国保の一人当りの年間医療費が本市より7万円低い。
 保健師同士の連携、検診後のフォローが大事と考えるが本市の実態はどうか。

市長 23年度に健康づくりを推進する「健康あいら21」を策定した。
 健康ポイント制度は、今後研究する。
 今年は医療費分析の關係から先進地研修を計画している。
 現在、市の保健師は15人で定期的な会を開き連携を図っている。
 検診の結果、要指導や要精密の方には健康相談や訪問指導を行っている。今後、保健指導の充実に努める。



▲健康を気づかう市民(蒲生ふれあいセンター)

基金運用

繰り替えの必要ないか

市長／繰り替え運用の処置は取らずに済む



田口幸一議員

田口 基金繰り替え運用の必要は、なかったか。

市長 11月期における普通交付税の交付額は19億3640万6千円を予定していたが、11月16日に国会で特例公債法案が可決され、19日に同額を収入した。

本市では、基金の繰り替え運用の措置は取らずに済んだ。

財政調整基金を9月末現在で31億1990万円保有している。

本市の基金は、23基金あるが、基金条例の中に繰り替え運用の規定があ

る基金は19基金ある。

繰り替え運用している

主な基金は、財政調整基金と減債基金である。

この2つの基金運用残額は、9月末で36億8710万円である。

現在、金融機関からの一時借入れは、行っていない。

その他の質問

○市長と語る会

○ヤマエ久野(株)の工事着手

○始良公民館大規模改修

○商工会合併



▲出納業務を司る会計課

解決策を問う

市長／連絡会を結成し強化を図る

拉致問題



萩原哲郎議員

萩原 地元、増元るみ子さんの拉致問題に関して、旧始良町・始良市は今までに、どのように協議し、解決策を見出してきたか。

市長 拉致問題啓発週間に合わせてポスター掲示やパネル展を開催、職員へのブルーリボン着用や募金・署名活動を行う。

昨年、拉致被害者に関する連絡会を4市で結成し、お互いに情報を交換し、取組みの強化を図っている。

える。

山頂のトイレ建設は、鹿児島市に要望していく。市内最高峰の烏帽子岳登山道は、安全上多くの課題がある。

今後、観光資源としての活用は、「観光基本計画」審議の中で検討する。

登山道の整備

市長「観光基本計画」で検討

萩原 白銀坂登山道のトイレ設置・JTの森景観

対策が必要である。

烏帽子岳登山道も改良

して、観光に結び付けたら良いと思うがどうか。

市長 JTの森景観対策は、日本たばこ産業に伝

その他の質問

○サポーランドパーク始良

○北山地区の地域活性化

○始良市民農園



▲生きているのに何故助けられない (増元照明氏講演)

行財政運営

コストダウン図れ

市長／スクラップ・アンド・ビルドにより見直す



堂森忠夫議員

堂森 少子高齢化で将来は税収減だ。今の業務運営継続は財政的に厳しくなる。

民間の発想でコストダウンを図る施策に取り組み。

市長 スクラップ・アンド・ビルドにより見直しを進め、行政のやるべき



▲永原校区ふるさと学寮（自分たちで作った夕食オイシーナ）

NPO団体と連携図れ

教育長／検討する

範囲を明確にし、民間にできることは積極的に導入に努め、市民サービスを市民との共同で図る。

堂森 永原校区では、ふるさと学寮を実施して来年は10年だ。

このような体験学習にはNPO団体と連携を深め、多種分野において活動支援を図れないか。

教育長 提案のNPO法人等の民間力の導入は、社会教育事業に新しい風が送られるものと期待される。

今後は、各種外部団体の実態調査を進めながら、導入の可否を検討する。

- 給食事業
- 通学道の危険箇所
- 権限移譲

その他の質問
○給食事業
○通学道の危険箇所
○権限移譲

共同住宅

建築条例を作れ

市長／考えていない



河東律子議員

河東 民間の共同住宅が増えている。

トラブル等の未然防止、自治会等の連携を考慮し、共同住宅の建築にかかる条例を作ったかどうか。

市長 自治会との連携・加入については、事前に自治会長と自治会活動について協議すること、入居者に自治会加入や、コミュニティ活動への積極的な参加等について「始良市民間共同住宅等に関する指導要綱」に従い指導している。

条例については、考えていない。

校庭の抜本的排水対策

教育長／今後検討

河東 校庭の排水対策は年次計画を立てて、抜本的に改善する必要があると考えるがどうか。

教育長 小中学校のうち、



▲ 増える民間共同住宅
周辺住民との共生を促す条例が必要

グラウンドの排水の悪い学校が6校ある。
校庭に真土を保管したり、排水用の柵、配管を布設し、溜まった水を流すなどの排水対策を進めている。
抜本的対策には多額の費用がかかるので、今後検討していく。

住宅リフォーム

助成できないか

市長／財政等検討する



神村次郎議員

神村 市民の住宅環境の向上と、住宅の長寿命化を図り、市内の地域経済の活性化、雇用の安定化のため、個人住宅の改修工事を助成できないか。
市長 いずれの業者においても、厳しい経営状況である。
地元業者の活用により、



▲住宅リフォームに助成を望む

経済効果や雇用等への波及効果もあると認識している。

現在の実施計画の中で財政への負担や優先すべき事業など踏まえ検討する。

子育て支援施設

市長／子育てサロン事業実施中

神村 子育て家庭をさまざまな角度からサポートする、総合的な子育て支援施設の整備はできない

か。
市長 市内4か所の保育所で地域子育て支援センターを開設し、社会福祉協議会でも子育てサロン事業が実施されている。
現在、始良公民館改修計画の中で、子育て支援センターの設置について協議検討している。

その他の質問

○街並みと調和した、蒲生庁舎の整備

旧町境の交通

利便性の向上を図れ

市長／都市計画等で検討



出水昭彦議員

出水 県道40号線が豪雨災害により、川東と住吉境で通行止めになり不便を強いられている。

付近農道を繋ぎ、利便性の向上を図れないか。
市長 県道40号線は工事が発注され、平成25年1月末までに完成予定である。

周辺の農道を迂回路として利用することについては、現在のところ考えていない。

出水 この地点は旧始良町と蒲生町境であり、生活道路や農道として、町をまたいでの利用の考慮が足りなかった。
この様な視点の検討も必要ではないか。

市長 農道は、本来周辺農地の受益者が主に利用する道路であるが、生活道路としての利便性の向上は考慮していかなければならないと考える。
都市計画マスタープランなどでも検討したい。

その他の質問
○市ホームページに動画配信の導入
○LED照明導入で公共施設の節電対策



▲豪雨災害の復旧工事が進む県道

市道整備

かもだ
蒲生田通線

市長／緊急性を考慮し検討



東馬場 弘議員

東馬場 市道蒲生田通線が、数年の間に轍や路面のひび割れ・剥離、歩道のブロックの剥がれ等がある。

轍は買物客が、通行車両からの水を掛けられた事などの苦情がある。

このままでよいのか、認識と原因を問う。

市長 施工後8年経過していることや道路側溝設置後の沈下、歩道への重量車両の通行が原因である。

蒲生田通線と、公園通線の現状は把握しており、緊急性などを考慮して検



▲轍が整備された蒲生田通り

討する。

子育て支援

市長／支援センターを設置

東馬場 子育て支援の今後の環境整備をどう考えるか。

市長 次世代育成支援対策後期行動計画に、26年度までの整備目標として（仮称）あいら子育て支援センターを設置する。

施設設備の老朽化への対応

教育長／整備計画を検討

給食調理施設



湯之原一郎議員

湯之原 市内の学校給食調理施設は、一部施設を除いて、学校給食法の衛生管理基準を満たしておらず、施設の老朽化も進んでいる。施設設備の老朽化への対応を問う。

教育長 加治木学校給食センターと始良地区の自



▲産業文教常任委員会で給食を試食しました（バランスの取れた給食でした 重富中）

校方式給食室は、建築後30年を経過している建物もある。

施設改善には大規模な工事を伴うため、今後、「学校給食あり方検討委員会」の検討結果を踏まえ、施設設備整備計画を検討していきたい。

デジタル戸別受信機

市長／全戸に配置はしない

湯之原 蒲生地区では、現在各戸に防災行政無線戸別受信機が設置されている。

デジタル化に伴う戸別受信機設置はどうなるのか。

市長 全戸に配置するのではなく、土砂災害危険地域にある住宅や屋外拡声子局からの音声が聞こえづらい住宅、指定避難所、公共施設、学校、病院等への設置を計画している。

その他の質問

○（仮称）松原小学校教職員住宅予定地

利用者本位の運営を

教育長／現状のままでもいいと認識



川辺信一議員

川辺 中央図書館は利用者本位の運営を進めるために開館日数を増やし、開館時間を早めることや時間の延長はできないか。また、貸出冊数を10冊



▲多くの市民に利用されている中央図書館

教育長 今後は利用者サービスの向上を図る上から、祝日のなかでは、隔月に一回程度は開館している。平日に時間を早める必要があるれば入館者の利用状況を考慮し検討していきたいと考える。
また、ゴールデンウィークや特別整理期間及び図書館フェスティバルなどの場合は、10冊に増やし要望にこたえている。
川辺 指定管理者制度での運営は検討したか。
教育長 始良市立図書館では新図書館統合システムが稼働したばかりであり、更に改善すべき点も予想されるために、現時点では指定管理者制度の導入は検討していない。

禁煙対策

禁煙職員を増やす方法

市長／喫煙者のモラル取り決め



森川和美議員

森川 職員の健康を増進し、喫煙しない職員との不公平感、時間の浪費等、喫煙を減らし、禁煙者を増やす方法を考えているか。
市長 勤務時間中の喫煙については、安全衛生委員会等でも協議し、業務に支障のない範囲で喫煙



▲指定されている喫煙所

するように取り決めている。
始業前後や休憩時間以外は禁煙することとしている。
健康の観点から世界禁煙デーに合わせて禁煙・節煙を呼びかけて禁煙外来の紹介を行っている。
行財政改革と権限移譲への対応
市長／総合的に取り組む
森川 行財政改革と事務の権限移譲を平行して進めなければならぬ厳しい現状への対策を示せ。
市長 地方分権で権限移譲が進み、財源及び人的

課題は積み残し、国・県の事務は市町村に移管される。「歳出抑制」「職員削減」「事務量の増加」など矛盾した課題は山積みのみである。
組織・事務の効率化の推進、再任用職員、任期付職員の活用等総合的に取り組む。
その他の質問
○イオンモール(株)出店
計画
○あいらびゅー号の運行

加治木港周辺

再開発のビジョン

市長／適正な土地利用を誘導



法元隆男議員

法元 港町周辺は警察署の移転や有力企業の撤退など、空き地が増え地域の疲弊が進んでいる。

再開発を考えるべきであるがそのビジョンは。

市長 地域の活性化を図るため、企業誘致等、一体的な取り組みを行う。本市の海の玄関口であ



▲重富漁港に祭られている恵比須神祠

る加治木港については、県も県央県北地帯への物流拠点と位置づけており、マリーナ整備に関する調査を進めている。

今後既存の立地機能に加えて、商業、業務機能やレクリエーション機能など適正な土地利用誘導を図っていく。

恵比須神祠の文化財指定
教育長／早い時期に基本調査

法元 始良・蒲生の恵比須神祠について、文化財指定できないか。

教育長 文化財指定の手続きは、製作年代や実測等の基本調査を実施し、検討した上で文化財保護審議会へ諮問し、答申を受ける。早い時期に基本調査を行う。



吉村賢一議員

道の駅

施設の計画

市長／調査・検討する

吉村 始良市内では「道の駅」に類似した小規模施設が蒲生にあるが、も

つとも交通量の多い国道10号で検討できないか。

市長 施設を整備し、活用することによって、出店する生産者の所得向上や施設での雇用創出、交流人口の増加など、複合的な地域活性化が期待できる。

有用な場所の選定や整備、運営方法及び整備時期について関係機関や各種団体と協議していく。

合併効果の具体化

市長／消防庁舎の建て替え

吉村 総合計画の中で「合併効果を活かした計画作り」で実行しようとしている事業は何か。

市長 消防庁舎や火葬場の建替整備方針が前進している。

合併したことで企業誘致も進み国や県の出先機関の市外流出を止め、地域経済を維持・発展していくことができる。

○商店街
その他の質問



▲利用者の多い「道の駅たるみず」

くらしの便利帳の作成

市長／平成25年度に計画



竹下日出志議員

竹下 市民の皆様が、日常生活に必要な情報や市役所への申請・手続き方法等をまとめた「くらしの便利帳」を民間と共同で作成する考えはないか
市長 くらしの便利帳は、平成22年3月から市役所への各種申請や、手続き等に活用できるように合併



▲通学路の緊急合同点検が行われた（重富小校区）

協議会で発行していた。民間と共同によるくらしの便利帳は、平成25年度に作成を計画している。

通学路の緊急合同点検

教育長／危険箇所に対応策を協議

竹下 本年8月までに、文部科学省主催の「通学路の緊急合同点検」が実施された。

その調査結果と、今後の活用はどう考えるか。
教育長 全ての小学校から、通学路の危険箇所と

して93か所の報告があり対応策を協議した。

現在、38か所は対応が済み、信号機設置等の要望があつた55か所は、通学路検討会議で協議し、保護者や地域、警察等の関係機関と連携して通学路の安全確保を指導する。

- 配偶者暴力相談支援センターの設置
- 歳入確保の取組み

教育問題

家庭・地域との協働

教育長／子育て基本条例を検討



小山田邦弘議員

小山田 子育て・教育には、学校、家庭、地域の協働が欠かせないと思う

がどのように考えるか。
教育長 現在、「始良っ子」子育て審議会を設置し、子育ての現状と課題、改善の視点を話し合い、子育てを社会全体で支える協働のシステムについて検討している。
家庭には基本的な生活習慣の確立、道徳性や規範意識の確立、家庭学習や

読書の充実等に向け、意識的に取り組むことを期待している。

小山田 「意識的に取り組む」ことは重要だが、どのような誘発させようと考えているか。

教育長 意識づけるといふことは非常に難しいことだが、子育て基本条例のようなものを作り、広く市民の皆様に訴えることで、家庭も意識づけられるのではないかと考えている。



▲森林ボランティア蒲生郷おかべ会と蒲生小児童の里山体験学習

医療費助成

中学卒業まで拡大

市長／財政を勘案し研究



堀 廣子議員

堀 子どもの医療費助成事業は、小学校卒業までの児童を対象に実施されている。

県内では12市町村が、中学卒業まで全額助成している。始良市でも対象を拡大できないか。

市長 市の財政状況を勘案しながら研究していく。

堀 子どもの医療費窓口無料化は、始良市を担う子どもたち「未来への投資」である。子育て支援として実現できないか。

市長 医療体制を整えてから検討する。

児童クラブの拡充

市長／市の実施要綱に基づき支援

堀 児童クラブの運営方式を統一し、指導員の労働条件を同水準に引き上げるべきだと考えるがどうか。

市長 設置状況、運営形態、職員体制などさまざま

まであり国のガイドラインに基づき運営されている。

堀 児童クラブの質、指導員としての資質の向上のため、市独自の補助金は交付できないか。

市長 児童クラブの運営に要する経費の一部を補助している。市の実施要綱に基づき引き続き支援をしていく。

その他の質問

○就学援助費の拡充



▲紙芝居を楽しむ児童クラブの子供たち

自校方式の継続

教育長／検討委員会で検討中

学校給食



里山和子議員

里山 始良地区の学校給食が、ミニセンター化への移行が計画され、全体の小中学校の給食センター化も検討されているが、センター化では食育の重要性を実現できないのではないか。

教育長 今後は、計画的に「学校給食あり方検討



▲おいしい給食楽しいな！
(自校方式・重富小学校)

委員会」を開催し、来年度末には2か年の協議結果を報告書として提出していた。

その報告書を踏まえ、運営や施設に関する計画を立てていく予定である。

高齢者福祉センターの改修

市長／総合的に検討

里山 高齢者福祉センターは、市民に愛され利用されているが、玄関の自動ドアへの改修や、洋式トイレ化、風呂場の洗い場を広くし、2階の応接室を改装、エレベーター

の設置等検討できないか。

市長 玄関の自動ドアやエレベーター設置等の改修や、健康づくりの拠点施設への建て替えについては、経年による施設の老朽化が進んでいる。今後、総合的に検討していく。

その他の質問

○子育て支援

市営住宅

どのような計画

市長／子ども世帯を優先



谷口義文議員

谷口 山田小学校北側の建設予定地の住宅はどのような計画をしているの

か。また建設時期はいつ頃になるのか。
市長 山田地区市営住宅の建設については、小中学校の児童生徒の確保、地域の活性化に資するため、小中学生以下の子供のいる世帯を優先するなど、独自の条件を付けて入居者を募集する計画である。



▲始良市火葬場の建て替え予定地

できるだけ早期に建設に着手できるように努力する。

火葬場の建て替え

市長／27年度に設計調査

谷口 現在の火葬場は老朽化しており、早急な建て替え要望が多く、市民の声である。

今の道路向かいの市有地での建て替えはいつになるのか。

市長 火葬場の候補地については、候補地選定委員会を開き、利便性はどうか、学校、病院、密集した住宅が近くにないか、用地取得が容易にできるか、造成費、用地費など建設コストが多額にならないかの評価で、道路向かいの市有地に決定した。27年度に設計調査等に着手する。

その他の質問

- 小中学校の校区見直し
- 宿泊施設

陳情

市営住宅建設による触田地域(始良)の地域活性化

提出者 榮 一也

趣旨採択

主旨

触田地域は、広域的な高速利便性の高まりをいわれながらも、利用者の多くは素通りしています。若者世代もほとんどが市中心部の民間賃貸住宅や市営・県営住宅で生活しています。また、空家の入居促進もしていますが、実現していないのが現状であり、触田地域はますます取り残されている感があります。

委員会審議 9月定例会で建設水道常任委員会は、土地確保の可能性や市営住宅建設以外での活性化策などの審議を重ね、「継続審査」としました。

その後、提出者より同陳情についての102人の同意書等が提出され、再度審議しました。執行部に意見を求め、現在進める始良市公営住宅等長寿命化計画は策定されたばかりであり、見直しが難しいこと、住宅政策だけでは活性化は難しいことなどから、市営住宅建設の早期対応は難しいと判断しました。

しかし、陳情者の地域活性化への想いは十分に理解できることから、再審議の結果、賛成多数で「趣旨採択」としました。

当地区にはこれらをすぐにも建設できる場所(土地)もあり、また住民の協力も得やすいものと考えます。

活性化は学校などの他の環境も含め、総合的な視点から検討すべきであるが、趣旨は理解できることから賛成とする。



趣旨採択反対

里山和子 人口減少、高齢化は深刻で、住宅建設に対する住民の熱意もある。陳情原案には賛成だが、趣旨採択には反対である。

趣旨採択賛成

笹井義一

活性化は学校などの他の環境も含め、総合的な視点から検討すべきであるが、趣旨は理解できることから賛成とする。

森川和美 住宅政策だけでは活性化にはつながらず、現実的な判断と、総合的な手立てを考える必要がある。

本会議においても討論の末、賛成多数で委員会審議通り「趣旨採択」と決しました。

先進地に学ぶ

委員会
レポート

岩手県二戸市

総務

地域の宝でまちづくり

平成24年10月24日、岩手県二戸市で宝を生かしたまちづくりを調査しました。

これらを磨き上げ、広めていく取組を市民総出で行っています。

地域毎に見えられた宝（自然・歴史・文化等）

は地図に整理され、住民や訪問客が宝探しツアーができるように工夫されています。

20年も続くまちの宝探し二戸市では、住民がまちのことを知らない、まちの将来に関心がない等の危機感から、平成4年より地域が共有する誇りや固有の価値を再発見し、

現在は市民の宝を守り、活用し、継承するという理念を「宝を生かしたま

ちづくり条例」として示して、宝をまちづくりの根幹に据えています。

一方、宝を生かした観光振興にも力を注ぎ、巨樹巨木サミットやグリーンツーリズムの大会を誘致し、宝でまちを広く発信しています。

研修を終えて思うこと

二戸市が「宝探し」を始めて20年を経過しているが、今では市民全員が取り組み、地域の宝に誇りを持ち、それを伝え、

広げていくすばらしいまちづくりにつながっています。

始良市も合併して3年目を迎え、旧3町の宝を

発掘し、それを市民が共有し、外部に情報発信して観光事業等に活かしていくべきものと感じました。



▲市のホールでは「宝探し」の取組みを展示・紹介しています

兵庫県豊岡市

市民福祉

健康ポイント制度



▲楽しみながら健康づくりに取り組めるよう 配布物も工夫されています

平成24年10月25日、兵庫県豊岡市で健康ポイント制度を調査しました。

健康づくりでまちづくり

豊岡市では平成23年8月から市民の健康づくりとして「健康ポイント制度」を導入（高校生を除く18才以上が対象）しています。

同市の健康ポイント制度では、まず、参加者自身がウォーキングの歩数や時間など自分の健康づくりの目標を設定します。

実践された健康づくりは、「健康づくり実践ノート」に記載し、同時にそれにより獲得したポイント数を記録していきます。

貯めたポイント（1ポイント10円）は市内の協力事業所で利用できるほか、小学校などへ寄付もできるよう工夫されています。

国保の一人当たり医療費では、始良市より約7万円低いという成果がみられます。

研修を終えて思うこと

豊岡市は市民が健康事業に参加しながら社会貢献でき、健康づくりを通して市民の笑顔あふれるまちづくりを奨励しています。

今後はこれを参考に、始良市の福祉施策を一層充実していけたらと思います。

第1回

議会報告会

を開催しました



▲報告会初日の始良会場 どの議員も少々緊張の面持ち

始良市議会では、平成24年4月に「議会基本条例」を制定し、議員と市民が自由に意見交換する場として議会報告会の開催を決めました。第1回議会報告会を12月17日から19日までの3日間、市内3会場で開催し、35人の市民の皆様に参加していただきました。議会だよりを資料に、第3回定例会で議決された案件について説明の後、参加者から市政全般にわたってさまざまなご意見をいただきました。

市政全般に対する 主な質問・意見

質問 スマートインターチェンジとは、何か。設置場所について2案あるが、前向きに検討しているか。

回答 料金徴収員のいないE.T.C.通行の簡易インターチェンジである。必要性や設置手法等について調査検討している。

質問 スターランドあたりは周辺施設と連携しているか。

回答 北山の3公共施設の連携はこれまでもさまざま

さまざまな提言をしており、実施されてきている。

質問 廃屋、空き家対策を早急に取り組めないか

回答 現在、市内にどれ位の空き家があるか調査中である。

質問 火葬場の建て替えはどうなるのか。

回答 平成27年度より実施設計の予定である。

質問 加治木駅の線路をまたぐ階段は、高齢者や障がい者には不便なので、加治木工業高校側に裏口を設けられないか。

回答 過去に要請したが、JRは予算的に難しいとのことであった。執行部に働きかける。

市政への提言

○自治会の再編を進めよ
○始良公民館改修の代替施設として、加音ホールの利用料金は高いので検討して欲しい。
○島津義弘公の大河ドラマ化の動きがある。柁城小前に駐車場の設置が必要である。
○市有地の有効利用を図って欲しい。

議会に対する 主な質問・意見

○議員定数は、市民の意見を聴く機会を設けよ。
○傍聴の方法を検討して欲しい。夜間・休日議会の開催や議員の顔が見えるように傍聴席の配置を考えて。

質問 公共工事請負は、市内業者が落札しても市外業者に下請けに出している。市内雇用につながるよう指導できないか。

回答 議会の中でも市内業者の育成について要請している。下請けについても市に要請する。

質問 陳情の現地調査は全議員で行っているのか。

回答 委員会中心主義なので、所管の委員会が行っている。

質問 研修に行政担当職員も同行しているか。

回答 行っていない。

質問 政務調査費を公表できないか。

回答 政務調査費は、支給していない。

報告会当日の アンケートから

始良会場

○議員としての取組みの前向きさを感じる。今後の報告会には広報を充実させ、活発な報告会になることを望みます。
○年寄りは、夜来ることが大変です。運用の工夫をして欲しい。
○市民の意見を聞く時間を多くして欲しい。

加治木会場
○今後どのように一般市民の参加を求め、意義ある報告会が設定され、市民参加の会が持続されるか大切な課題である。
第1回の報告会を反省し、より発展的な実のある会が続けられるよう希望する。



▲最も参加者の多かった加治木会場
ケーブルテレビで放映されました

○出席している市民の方々の多くが高齢者である。今後の始良市を良い都市とするため、若い方々との意見交換ができる場を設ける努力が必要と感じた。

○合併協議会での協議事項が、どの程度進められているのか示して欲しい。

○蒲生会場

○議会、たよりだけでなく、このような議会報告会を開催してほしい。内容説明など大変良かった。もう少し多くの方に参加してもらいたい。

紙面に掲載したご質問ご提言は一部を抜粋したものです。これ以外にもたくさんのご意見をいただきました。

市政へのご意見は、執行部にしっかりとつなぎ、議会に対するご意見は、今後、議会の中で議論を深めてまいります。

◎アンケートの実施状況

項目	
調査地域・対象	市内に居住する18歳以上
対象者数	3,000人
抽出方法	無作為抽出
調査時期	平成24年11月1日～12月31日
回答者数(有効回答率)	1,209人 (40.3%)

**3000人へ
アンケート実施**

**議員定数は
何人がよいか**

議員定数について、「議員定数等調査特別委員会」を設置し、新たな議員定数に向けて議論を重ねてきました。

特別委員会でも最も重視した点は、民意をどのように反映させるかということでした。

議論を重ねた結果、「住民アンケート」を実施することにしました。

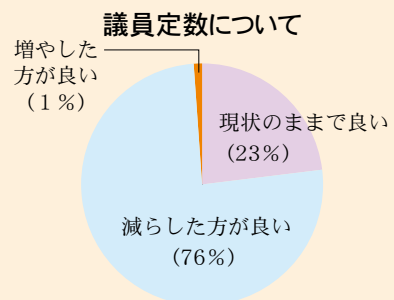
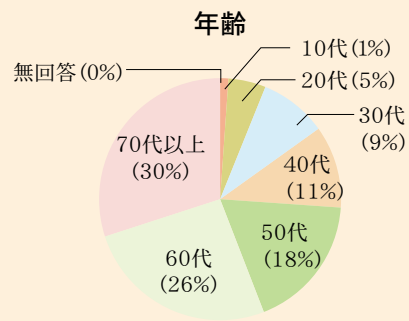
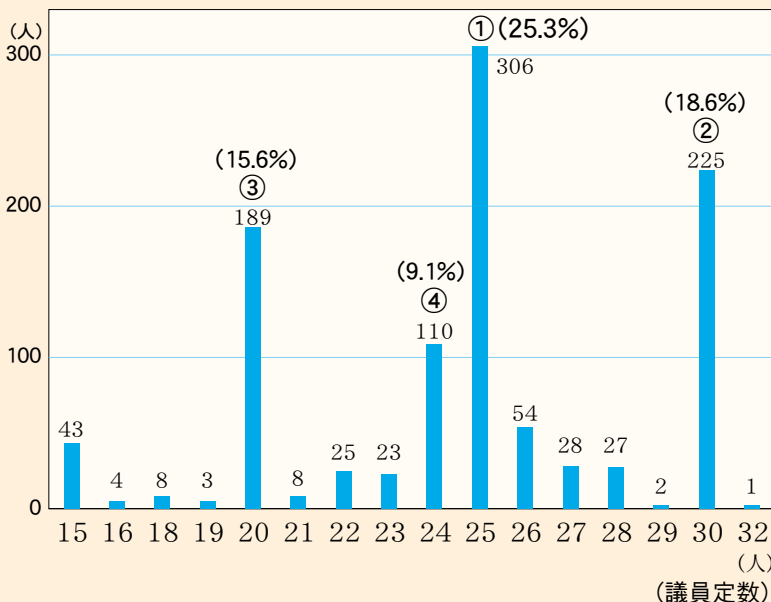
**6月定例会で
議決の予定**

今後特別委員会で話し合いを重ね、3月議会で中間発表をします。(No.12「3月議会、たより」に掲載予定)

6月定例会で、議員定数の一部を改正する条例を提案します。

「アンケート」の結果を十分精査した上で、定数決定の重要な参考といたします。

●議員定数人数割合表



住民アンケート結果

クイズ

ここはどこ？



正解は **加治木**

応募者数 86人

次回のクイズは3月定例会号

皆さまからのメッセージ

クイズの解答に添えられたメッセージを紹介し
ます。皆様の声を、今後の議会運営に役立たせて
いただきます。

○くらしやすいまちづくりに向けて、議員さん個々がどのような活動、取組み、考え方、仕事をしているのか知る機会になっています。(30代女性)

○市議会だよりは写真が多く見やすい。合併してなじみのない地名も多いが、写真があると「ああそこか。」と分かりやすい。(40代女性)

○市議会だよりを知らない若者が多いと思う。古いやり方を見直して、多くの若者が見るようにつと工夫を凝らしていただきたい。(20代男性)

○現在、子育て中です。毎回、興味深く「市議会だより」を見ています。子供の成長と共に学校のことなどが気になります。今後子育てしやすい環境が整っていけば嬉しく思います。(30代女性)

○最近、議員さんの在り方(活動費も含めて)が問われています。議員さんの人間性も含めて全ての面で大いに期待をしています。(70代男性)

○2児の母親ですが、特にポリオや赤ちゃんの駅

写真は
網掛橋東袂の恵比須神社
でした。

この恵比須神社は、始良郡西部地域の江戸時代の伝統を持つ、商業地域や漁村に存在します。明治中頃、加治木石工により造られたものです。始良市内には5か所の恵比須神社があります。残り4つもさがしてみてください。

設置についてのコーナーに心を打たれました。細かいこのような心配り、意見を出していただけるだけでもありがたいなと思います。(30代女性)

○3町が合併していろんな面でよくなったのか。財政面でもスリムになったのか、議員さん達にもっと勉強して頑張ってください。(60代女性)

○市議会だよりを何気なくテーブルに置いておくと、中一の娘が読んで「始良市ってそうなんだ。」と

正解者5人に図書券

クイズに86人の応募があり、抽選の結果、次の5人のかたに図書券を贈りました。(敬称略)

- 末吉洋子(加治木)
- 久保千鶴(始良)
- 吉井由美子(加治木)
- 溝口江利子(加治木)
- 迫ひとみ(蒲生)

傍聴席へどうぞ

車いす席もあります

次回の開会は2月下旬予定

※今回もたくさんのご意見とご感想、ありがとうございました。また次回もご応募・ご意見を、どしどしお寄せください。

始良市の現状に興味を示す姿が見られます。カラーで読みやすいです。(40代女性)

○7頁のお母さんと赤ちゃんの表情がとても良いです。表紙の体育祭の写真は動きのある瞬間をとらえていて、目を向けてしまいました。これからも楽しみにしています。(60代男性)

編集後記

12月16日に第46回衆議院選挙があり、自民党が圧倒的な勝利をおさめ政権が3年3か月ぶりに変わりました。

経済対策と外交問題を確実に実施し、強い日本の創造を願っています。

始良市議会では、12月17・18・19日に、第1回議会報告会を始良、加治木、蒲生の各地区で実施しました。苦言や提言、政策的なご意見も数多くいただきました。

開かれた議会づくりに活用させていただきます。これからも、皆様方に親しまれる「議会だより」の紙面づくりに邁進してまいります。(有馬)

編集・発行責任者

議長 玉利 道満

広報等調査特別委員会

- 委員長 河東 律子
- 副委員長 竹下日出志
- 委員 有馬 研一
- 委員 小山田邦弘
- 委員 笹井 義一
- 委員 安田 久
- 委員 湯之原 一郎
- 委員 湯元 秀誠